

## ●夕日鑑賞の穴場を発見

宍道湖の夕日の名所といえば、松江市袖師町から嫁島町の『宍道湖夕日スポット』が有名ですが、そのほかにも、隠れた名所はたくさんあります。

その1つが、松江市玉湯町湯町（玉湯川河口部）にある『宍道湖玉湯水辺プラザ』です。今の時期は、鳥ヶ崎の向こう側に沈んでいく美しい夕日が鑑賞できます。

### 【宍道湖玉湯水辺プラザから撮影した夕日】



夕日の情報は、河川サポーター・戸谷さんから提供して頂きました！

### ～河川サポーター・戸谷さんのお話～

水辺プラザで夕日の鑑賞をしている人たちをよく見かけます。地元民のほか、近隣の宿泊施設に泊まっている観光客も、鑑賞に訪れているようです。

先月は、出雲空港付近に沈んでいく夕日を鑑賞でき、特にきれいでした。

※河川サポーターについては、中海出張所便り第2号（平成22年7月5日版）をご覧ください。

### ～担当者からひとこと～

撮影日は雲が多めで、しかも撮影者がカメラの技術ゼロという悪条件のため、写真では実際のきれいさが十分に伝えできていません。ぜひ、現地に足を運んで鑑賞してみてください！

# ●水辺プラザってどんな施設？

水辺プラザとは、個性豊かな地域づくりや、地域の交流・連携を促す地域拠点として整備された、親水、自然の学習、休憩、交流などマルチ機能を有する施設です。施設の整備は、市町村等と国が連携して行います。（市町村の交流拠点整備（公園など）＋ 国の河川整備 ＝ 水辺プラザ）

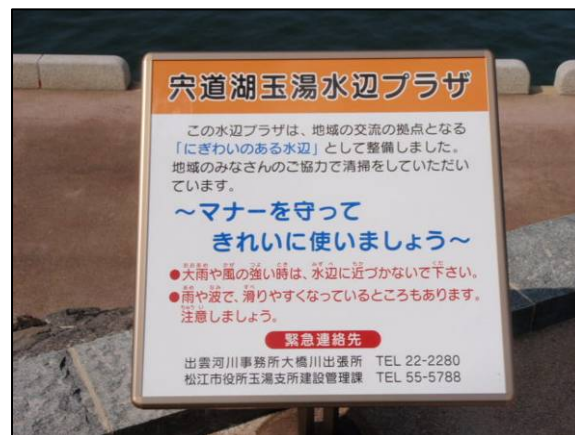
大橋川出張所管内で水辺プラザとして整備された箇所は、穴道湖玉湯水辺プラザのほかに、松江市岡本町の『秋鹿なぎさ公園』や、松江市魚町から灘町にまたがる『白湯公園』があります。



穴道湖玉湯水辺プラザの場合、堤防や歩道の整備を国、公園敷地の整備を松江市が施工しました。

水辺に降りるための階段を堤防に設けたり、歩道を水際に設置することで、水と親しみやすい環境にしています。

施設の管理は、国と松江市が役割を分担して行っていますが、日常清掃は地元のみなさんにご協力を頂いています。



親水性を重視した施設のため、水に濡れて、滑りやすくなっている箇所もあります。足下に十分注意してご利用ください。

※穴道湖玉湯水辺プラザには、注意喚起看板を2箇所設置しました。（平成22年9月設置）